

## 2024年度

①リサイクル量		トン	2,407.4
店 舗	野菜・肉の加工くず堆肥化(外部委託)	トン	708.1
	肉の加工くず飼料化(外部委託)	トン	2.6
	魚アラの飼料化(外部委託)	トン	388.6
食品工場	バイオマス発電への投入	トン	0.0
	パン耳等の飼料化	トン	175.7
	おからの乾燥・飼料化	トン	308.9
	おからの乾燥(水分量)	トン	823.5
	生ごみ(家畜飼料)	トン	0.0
	廃油(余剰分回収)	トン	0.0
②食品廃棄物の廃棄量		トン	1,044.0
リサイクル率 ①÷(①+②)		%	69.8
食品リサイクル法上の再生利用等実施率		%	83.0

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

### 1. 店舗でのリサイクルについて

兵庫県内の65店舗から食品残さなど(野菜と肉の加工くずや、とうふやめん類などの期限切れ品)を回収しています。回収した食品残さなどは、三木市にある大栄環境(株)三木リサイクルセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は、(株)コープエコファームで使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗や宅配で供給されています。  
<https://www.coop-ecofarm.jp/>

### 2. 食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。
  - ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。
- ※六甲アイランド食品工場は24年3月に稼働を終了

## 堆肥化

### 店舗での食品残さリサイクル



## 食品ロス削減の取り組み

フードドライブ常時受付、集中受付キャンペーンの展開

		2021年	2022年	2023年	2024年
食品回収量	トン	約20	約54	約55	約49

### 店舗でのフードドライブ常時受付

家庭の余剰食品を持ち寄ってフードバンクに提供する「フードドライブ」を推進しています。2021年4月よりコープミニを除く全ての店舗で常時受付を開始。（※コープミニルミナス箕面は実施）

